

Title MF-900 フィラメントが抜けなくなった場合

発信日 2024/8/2

No. 48

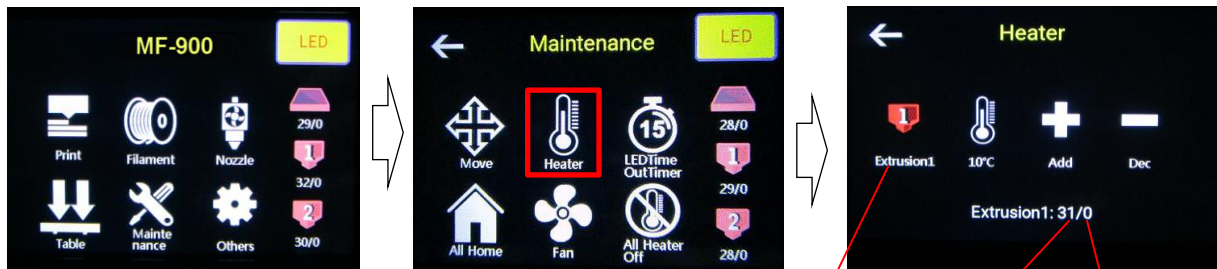
1/3

MF-900 では、通常フィラメントの「Remove」でフィラメントをエクストルーダーから引き抜くことができます。ただ、ノズルが詰まるなどしてフィラメントが送られず、送りギア部分で削ってしまった場合など、稀に引き戻しがうまく行えなくなって抜けなくなることがあります。

ここでは、エクストルーダーからフィラメントが抜けなくなった場合の対処方法をまとめました。

1. ノズル温度を上げてフィラメントを押し込む/引き抜く

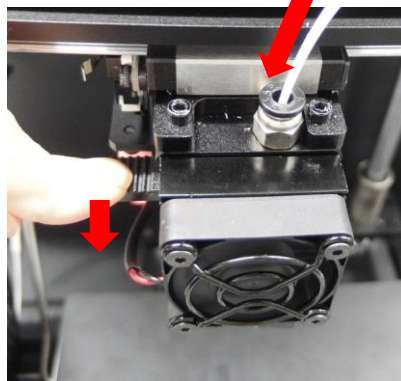
操作パネルのトップ画面から[Maintenance]→[Heater]を選択し、ノズル 1、ノズル 2 とテーブルの温度を設定できますので、温度を高め（PLA であれば 230℃）設定します。エクストルーダーレバーを押し下げてフィラメントをラジオペンチなどの工具でつかんで押し込む/引き抜くことはできるでしょうか？ 引き抜く場合は、一度押し込んでから引き抜きます。



左右の切り替え 現在温度 設定温度

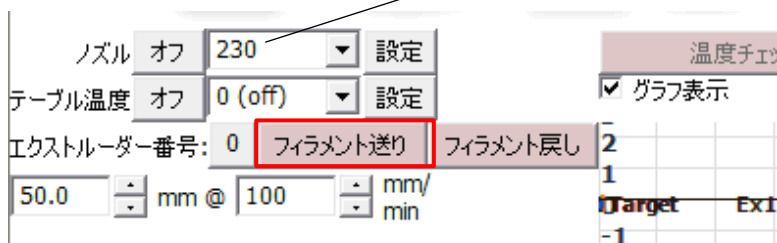
ラジオペンチなどでつかんで押し込む/引き抜く

レバーを押し下げる



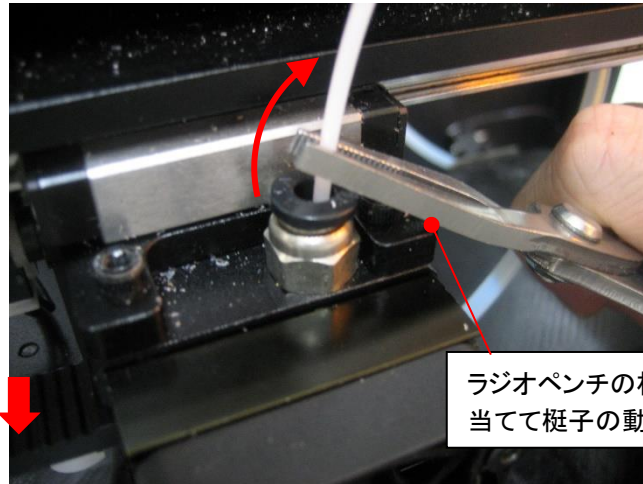
制御ソフトを使っている場合は、ノズル温度をやや高め（PLA 230℃/ABS 240℃ぐらい）に設定してしばらく[フィラメント送り]を行って下さい。また、加熱した状態で、上の写真と同じようにレバーを押し下げ、ラジオペンチなどで挟んで押し込んで下さい。

キー入力で温度を設定することができます



2. より大きい力で引き抜いてみる方法

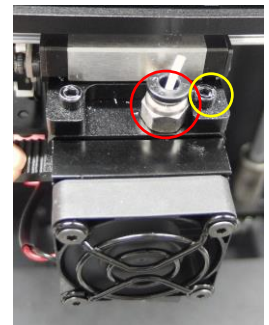
梃子の仕組みを利用し、ラジオペンチを使って引き抜いてみます。この場合も加熱およびレバーを下げながら行って下さい。



加熱および、エクストルーダーのレバーを押し下げてください

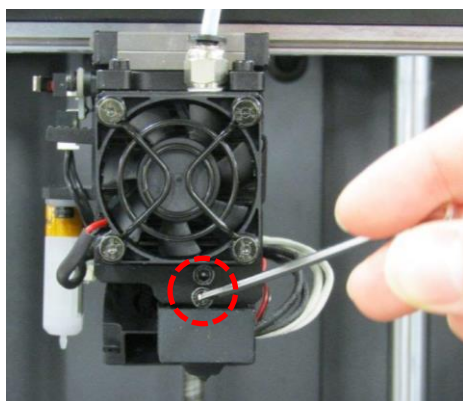
ラジオペンチの根元部分をエクストルーダーに当てて梃子の動作のようにして力を入れます

フィラメントが出ている部分が短い場合など、状態によっては、チューブ継手のボルト(右赤丸)をスパナ(10mm)で取り外して行います。その際、スパナをうまくかけられない場合は、一旦近接するボルト(右黄丸)を外してください。



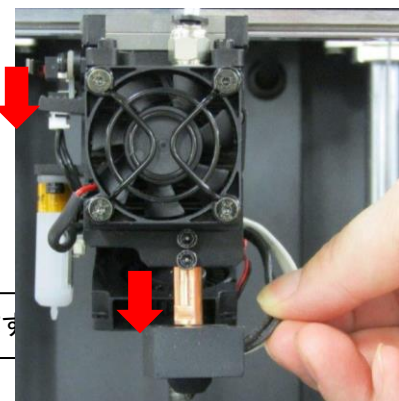
3. プリントヘッドを一旦引き抜いてみる方法

- ① トップ画面より「Nozzle」→「Move」を選択し、作業したいエクストルーダーをメンテナンスポジションへと移動させます。その後、電源をオフにします。
- ② プリントヘッド交換時と同じように、プリントヘッド固定のボルト2本を緩め、レバーを押し下げながらプリントヘッドを引き抜いてください。



エクストルーダーのレバーを押し下げてください

ヘッドを引き抜きます



Title MF-900 フィラメントが抜けなくなった場合

発信日

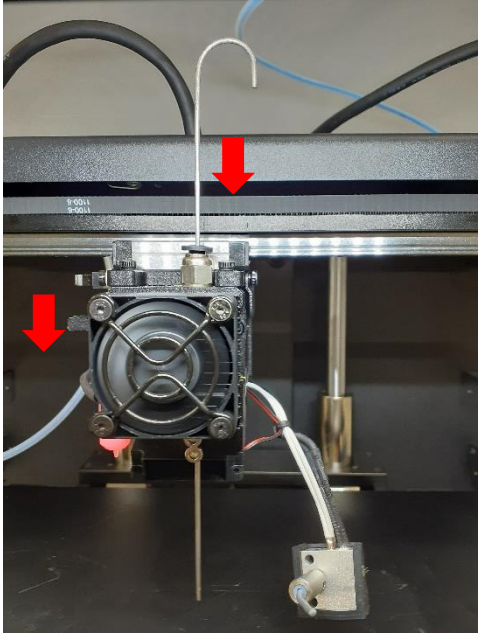
2024/8/2

No.


48

3/3

- ③ エクストルーダーのレバーを押し下げた状態で付属のクリーニングピンをチューブ継手側から挿入して、フィラメントが押し出してください。

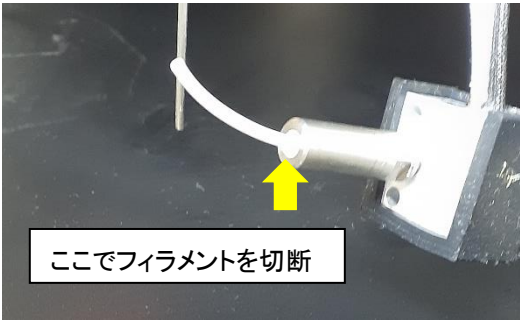


エクストルーダーのレバーを押し下げおきます

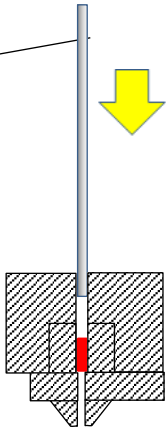


上からクリーニングピンを差して、フィラメントを押し出します

- ④ で引き抜いたプリントヘッドにフィラメントがくっついてきた場合は、フィラメントをニッパー等で切り、再度装着、加熱後にクリーニングピンでヘッド内のフィラメントを押し出してください。



ここでフィラメントを切断



クリーニングピンで上から押し込んで、詰まっている樹脂を下に押し出す

この時、溶けたフィラメントがノズルの上部まで上がっていて、ノズル詰りとなっている場合は、プリントヘッドを交換するしかありません。

以上